

大谷學報

第八十四卷 第二号

平成十七年十二月十日発行

場の理論による心理療法モデルの射程……廣瀬 幸市(1)

彙報……………(24)

学位論文審査要旨……………(38)

ゲーテと孤独……………栗花落和彦(1)
——詩『豎琴弾き』を巡って——

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷学報 第八十三卷 第三・四合併号

清沢満之の「僧伽」観（上）……………水島見一
金のうんこ……………吉田孝夫
——近世ドイツの鉦夫たちに——

平成十五年度

大谷学会研究発表会 発表要旨

彙報

学位論文審査要旨

フーガー・フォン・ホーフマンスタールの喜劇
『袖の下のかかぬ男』における
保守的革命の人物像について（日本語要旨）
……………デッケ・コルニル アルブレヒト
十七音平均律を用いた音楽について……………杉山正治

大谷学報 第八十四卷 第一号

清沢満之の「僧伽」（下）……………水島見一

説教師の創意工夫を探る

……………ハルトムート・オ・ロータモンド

平成十五年度

修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覧

彙報

学位論文審査要旨

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles :

Goethe und Einsamkeit

— Um seine Gedichte : „Harfenspieler“ — *TSUYU Kazuhiko* (1)

Examination Report of Theses Presented

for the Degree of Doctor of Literature (38)

Article :

The range of a Psychotherapy model

by the theory of “Ba” *HIROSE Koichi* (1)

Miscellaneous :

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷学会規程

(設置)

第1条 大谷大学（大谷大学大学院、大谷大学短期大学部を含む。以下「本学」という。）に大谷学会（以下「本会」という。）を置く。

(目的)

第2条 本会は、學術研究の推進と、その成果の公開を目的とする。

(事業)

第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 季刊「大谷学報」の発行
- (2) 「大谷大学研究年報」の発行
- (3) 研究会及び公開講演会の開催
- (4) その他必要な事業

(会員)

第4条 本会は本学のすべての教育職員及び学生をもつて会員とする。

- 2 前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認された者は、会員となることができる。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長
- (2) 委員
- (3) 監事

第6条 会長には大谷大学長が当たり、会務を統理する。

第7条 委員は10名とし、教授会におい

て互選する。

- 2 委員は、企画・編集・出版等の会務を掌理する

3 委員の任期は、2年とする。ただし再任をさまたげない。

第8条 監事は2名とし、教授会において互選する。任期は2年とする。

- 2 監事は、本会の会計を監査する。

(研究発表等)

第9条 会員は、本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」及び「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

(会費)

第10条 会員の会費は、年額四〇〇〇円とする。ただし、学生会員は二〇〇〇円とする。

(運営経費)

第11条 本会の経費は、会費をもつてこれに当てる。

- 2 本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

(事務所管)

第12条 本会の事務は、教育研究支援部教育研究支援課の所管とする。

(規程改正)

第13条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

付 則

1 この規程は、一九八一年四月一日から施行する。

2 一九六二年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する

附 則 この規定は、一九九三年四月一日から施行する。

附 則 この規定は、一九九五年四月一日から施行する。

附 則 この規定は、二〇〇二年六月一日から施行する。

〈大谷学会委員〉

浅見直一郎	D・ヴェステル
大城 邦義	門脇 健
禿 憲仁	番場 寛
廣瀬 幸市	三宅伸一郎
山下 憲昭	采 畢 晃

平成十七年十二月十日発行

編集兼 大谷学会
発行者 宮 下 晴 輝

発行所 大 谷 学 会

〒六三三八四 京都市北区小山上総町
大谷大学内

☎ (〇七五) 四一八一八五八面
振替 〇一四〇七一八三九三番

印刷者 西村七兵衛